

気道異物除去プロトコル

気道異物の確認

- ・食事中に突然苦しみだした
- ・のどをつかむ仕草(チョークサイン)
- ・声が出せない

反応(意識)の確認

- ・肩をたたきながら、大声で呼びかける
- ・異物が気道につまっているか、うなづきで答えさせる。

なし

あり

咳をすることが可能ならできるだけ続けさせる

咳ができなければ…背部叩打法

傷病者の後方から手のひらの基部で左右の肩甲骨の中間あたりを強く連続で叩く

異物が取れるか、意識がなくなるまで行う

反応がなくなった場合はすぐに通信指令員に伝えるよう指示する

気道異物除去法のやり方をしている場合、腹部突き上げ法(ハイムリック法)と背部叩打法を繰り返す

傷病者の意識(反応)がなくなった場合

心肺蘇生法の口頭指導へ
(途中で異物が見えた場合は取り除く)

・通報者が極度に焦燥し、冷静でない場合は、口頭指導を中止する。

異物除去プロトコール(全年齢)

大原則: 異物除去法は意識のあるときのみ指導し、意識消失後は蘇生法を指導する

窒息を疑う症状(窒息のサイン)
・のどをつかむしぐさ(チョークサイン)
・声が出せない、息が出来ない

救急車はそちらへ向かっています！落ち着いて私の質問に答えて下さい！

反応(意識)はありますか？

なし

CPRプロトコールを指導

あり

・咳を続けさせてください！

・背中をたたいてください！

背部叩打法(全年齢共通)

- ・背中(左右の肩甲骨)の真ん中を手のひらのつけ根の部分で強く叩いて(5回)ください
- ・口の中を見てください
- ・取れなければ同じように繰り返してください

背部叩打法の体位指導

(成人・小児)

- ・吐かせるような姿勢にして叩いてください(立位前屈姿勢又は座位前屈姿勢)
- ・自分の膝の上にうつ伏せにして叩いてください

(乳児・新生児)

- ・子供をうつ伏せに持ち上げてください
- ・頭を少し下げて背中を叩いてください

腹部突き上げ法(ハイムリック法)

- ・座位又は立位の確認(臥位では指導しない)
- ・お腹を突上げる方法を行います
- ・背中の方にまわってください
- ・患者の脇の下から両手を入れてください
- ・片方の手を「グー」にしてへそより上の位置に当てます
- ・もう片方の手で「グー」になっている手を握ります
- ・勢いよく両腕を絞り込み(引き寄せ)お腹を圧迫します

注意！

妊婦・1歳未満の乳児・新生児には使用しない

反応(意識)や呼吸がなくなった場合心肺蘇生を指導する

最終的な除去手段として掃除機による吸引も考慮する
注意: 口腔内に挿入後、電源を入れる

